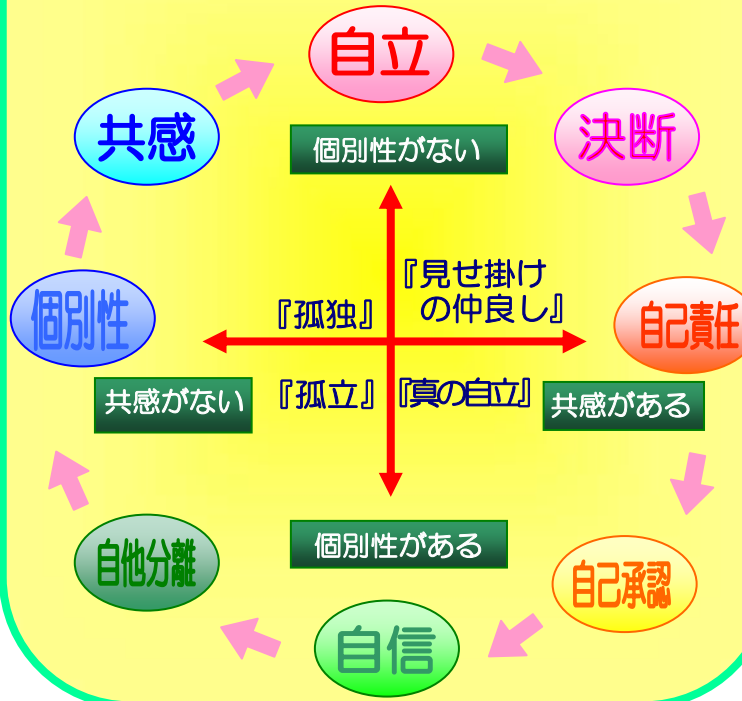


『真に自立した子ども』に育ちます

自分を信じ、自分らしく生きていくことができます



友達との関わり中で育つ子ども

●私と私●

～自分が大好きという自己肯定感を

持つことが教育の土台～

～自分を信じる事が出来れば

人を信じる事が出来ます～

●私とあなた●

～どこまで自分を置いて、相手も大切にしたらいいのだろう、『この程よさの概念』を友達との関わりを通して学んでいきます～

●皆の中の自分●

～クラスの一員であることがうれしい～

～皆と一緒にしていくと楽しいという思いに

子どもが向っていくようにすることが

教育のエッセンスです～



その中で育まれる 心の教育

- 『心の教育』とはルールを教えるのではなく、なぜそうしないといけないかという気持ちを教えることです。

その為には、結果が分らない時、居心地が良いか、悪いか自分の今の感情に気づき、その自分の心の声に正直に小さな小さな決断を毎日毎日、その時その時で重ねていくこと、その「本当の自己決断」が自分を信じる心を育てます。

- 自分の感情を伝え、自分の気持ちをわかってくれた時の『ほっ』とした体験が子どもの心を育てます。
- 心を一つにすると気持ちが良いと感じること、その心地良さを育てることで自分の存在を確認し、心が育つのです。
- 園や家庭生活を通して、子どもは自分の心に修正を加えながら「最後まであきらめない心、苦しくても悲しくても、辛くてもそれを乗り越えていく心」を会得し自分が自分であるというアイデンティティーを確立していくのです。

それが『育てる』つまりは『自ら育つ』ということなのです。